

News Release

2025. 07. 29

阪急阪神ホールディングス株式会社

広報室 広報部

〒530-0012

大阪市北区芝田一丁目16番1号

Tel:06-6373-5092 Fax:06-6373-5670

<https://www.hankyu-hanshin.co.jp/>

阪急阪神ホールディングスグループ

サステナビリティ宣言

～暮らしを支える「安心・快適」、暮らしを彩る「夢・感動」を、未来へ～

阪急阪神ホールディングスグループは、 使用済みペットボトルの水平リサイクルプロジェクト「ボトル to ボトル」の 取組拠点をさらに拡大してまいります！

阪急阪神ホールディングスは、株式会社サーキュラーペット（本社：岡山県津山市、代表取締役：喜田^{きだ}知^ち克^{かつ}）と、使用済みペットボトルを再生 PET 樹脂にリサイクルする水平リサイクルプロジェクト「ボトル to ボトル」に関する基本合意書を6月16日に締結しました。これにより、HEP FIVE やアプローズタワー（ホテル阪急インターナショナルを含む）、宝塚大劇場などの拠点を独自に行っていた使用済みペットボトルの回収・処理を当社がとりまとめ、定期的にモニタリングすることで、「ボトル to ボトル」の取組をより着実に推進します。

また、2025年度中には、当社や阪急電鉄などが入居する阪急電鉄本社ビルを「ボトル to ボトル」の拠に加える予定です。当社グループが管理・運営する商業施設や直営ホテルなどを中心に取組拠点の拡大を図り、資源の有効活用をより一層促進してまいります。



HEP FIVE



アプローズタワー
(ホテル阪急インターナショナルを含む)



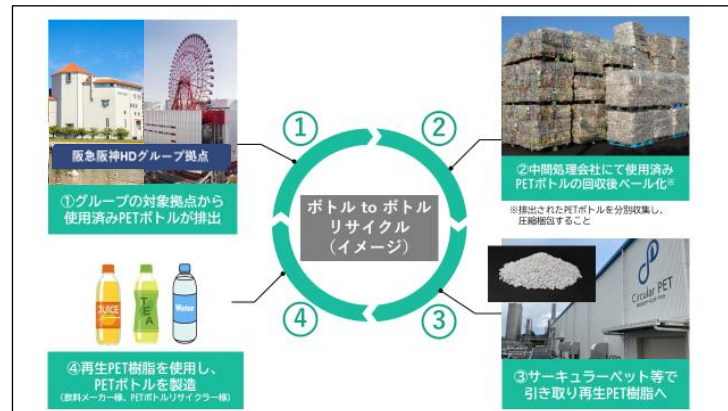
宝塚大劇場

【取組の背景】

当社グループは、サステナビリティ宣言の重要テーマの一つに「環境保全の推進」を掲げています。2025年3月に策定した長期経営構想においては、環境分野における取組を推進する方向性を明示しました。環境負荷低減の観点から、廃棄物の削減に加えて、質の高いリサイクルに取り組むとともに、新たな技術を取り入れながらサステナブルで良質な商品・サービスを提供していきます。また、それをお客様にご利用いただくことで、今も未来も誰もが自分らしい生活を送りながら、“サステナブルな行動を自然と選択できる社会の実現”を目指してまいります。

【「ボトル to ボトル」について】

飲み終えたペットボトルや事業活動を通じて排出される使用済みペットボトルを、再生 PET 樹脂にリサイクルする水平リサイクルの活動を指します。使用済みペットボトルを繰り返しペットボトルにリサイクルすることが可能で、リサイクルされない場合と比較して CO₂排出量を約 40%削減することができます。資源の有効活用及び環境負荷の低減が期待できます。



ボトル to ボトル リサイクル イメージ

【株式会社サーキュラーペットについて】

株式会社サーキュラーペットは、回収された使用済みペットボトルを再びペットボトルの原料へ再資源化する事業を行う企業です。2021年9月に、ヴェオリア・ジャパン合同会社、三井物産株式会社、株式会社セブン&アイ・ホールディングスの3社によって設立されました。岡山県津山市に PET ボトルリサイクル工場を建設し、2024年6月から本格稼働を開始しました。リサイクル事業を通じて、環境負荷低減や脱炭素化を推進し、豊かな地球環境を未来の世代につないでいくため、循環型経済（サーキュラーエコノミー）の確立を目指しています。

【阪急阪神ホールディングスグループの「環境保全の推進」について】

「ともに創ろう。澄みわたる未来と、心はずむ暮らしを」をスローガンに掲げ、「サプライチェーンを超えた社会の脱炭素の推進」「緑化・自然保護による都市の魅力やウェルビーイングの向上」「廃棄物の削減、リサイクルの促進による社会の環境負荷低減」をテーマに、環境に配慮した取組を推進していきます。

詳しくはホームページをご参照ください。

<https://www.hankyu-hanshin.co.jp/sustainability/materiality/environment/>



環境分野の取組のイメージ

以上

【ニュースリリース配付先】 青灯クラブ、近畿電鉄記者クラブ